

第367号 (平成30年6月1日(金)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075 (531) 7074

華利陀茶



ブライインド・パッション 仏教学非常勤講師 清基 秀紀

百八つ

テレビのバラエティ番組で仏教が語られることがある。興味本位で話される仏教を聞いていては、誤解を生むのではないかと心配になる。

仏教にくわしいという漫才師の講演では、人間の煩惱がなぜ百八つなのか解説されていた。

人生の苦には四苦八苦とよばれるものがある。その生老病死の四苦を掛けると四×九で三十六。八苦は八×九で七十二。合計すると百八つになる。

そうだとすると、テレビのなかでは、なるほどと感心される。そんなふうの説明されると、仏教もわかりやすく楽しいと言われている。

ちよつと待てよ。なぜ苦が九になるんだ。暴走族の夜露死苦じゃあるまいし、語呂合わせが仏教の教えではない。

仏教の講義の時間、テレビで語られるそのような話を仏教の教えだと思わないでほしいと学生たちと話した時、ふと黒板に書かれた108という数字が目にとまった。

ところで、煩惱はなぜ百八つだか知っていますか、と問いかける。学生は真剣に聞く。

実は昔はちよつと百八つだっただけです。それが消費税の8%が加わって百

八つになったんです。つまり、いつもの冗談が出てしまった。漫才師の四苦八苦説とあまり変わらない。反省する。

「高僧和讃」曇鸞大師 第一首
浄土にふかく帰せしめき
仙経ながくやきすてて

八つになったんです。

煩惱のやっかいな点

は、それが煩惱だと気づかないことなのである。

ブライインド・パッション 経典など仏教の文献を英語に翻訳する仕事に

関わっていると、教えの要となる重要な語句をどのように英訳するか苦労することになる。

「人間の煩惱にはどのようなものがあるか」と問題を出したことがあ

る。貪(むさぼり)・瞋(いかり)・痴(おろかさ)などの答えを期待していたが、ある学生はすつかり忘れてしまったのか、苦し紛れに書いた答えは「子煩悩」であった。

あの家のお父さんは子煩悩だと、ふつうは良い意味で使うが、それを「煩惱」と表現するところに妙味がある。

よい大学に入って、よい会社に就職して、よい結婚をして、よい人生を送る。そのためには一生懸命に勉強しなさい、勉強は自分のためですよと親は子供に言う。

しかし、よい人生とは誰にとってよい人生なのだろうか。よく考えれば、子供のためと思ってやっていることも、親の考え

た幸福の押しつけにすぎず、必ずしも子供の幸せにはなっていないことが

ある。

煩惱のやっかいな点

は、それが煩惱だと気づかないことなのである。

ブライインド・パッション 経典など仏教の文献を英語に翻訳する仕事に

関わっていると、教えの要となる重要な語句をどのように英訳するか苦労することになる。

「人間の煩惱にはどのようなものがあるか」と問題を出したことがあ

る。貪(むさぼり)・瞋(いかり)・痴(おろかさ)などの答えを期待していたが、ある学生はすつかり忘れてしまったのか、苦し紛れに書いた答えは「子煩悩」であった。

あの家のお父さんは子煩悩だと、ふつうは良い意味で使うが、それを「煩惱」と表現するところに妙味がある。

よい大学に入って、よい会社に就職して、よい結婚をして、よい人生を送る。そのためには一生懸命に勉強しなさい、勉強は自分のためですよと親は子供に言う。

しかし、よい人生とは誰にとってよい人生なのだろうか。よく考えれば、子供のためと思ってやっていることも、親の考え

た幸福の押しつけにすぎず、必ずしも子供の幸せにはなっていないことが

いない状態ということでは

はなく、ここでは「意識されない、気付かない」という意味で使われる。

自分のなかの意識されない感情というわけである。

あれが欲しい、これが欲しいという欲ならば意識することは出来るし、それをがまんすることも

できる。しかし、私たちの心のなかには、私たちの気付かない煩惱が潜んでいる。

積尊のさとり 積尊はインドの小国の王子として生まれ、何ひとつ不自由のない暮らしの中で不安をいだいて

いた。人間はいつかは年老い、病にかかり、やがては死んでいく。その現実を見ずに今の生を当たり前のように考えて日々を過ごす生活に疑問を感じて

いたのだ。この不安はどこから来るのだろうか。そしてその不安はどうすれば解決できるのだろうか。積尊は自分自身の心のなかに

鋭く見つめ、それが煩惱によるものだと思いついた。

今が永遠に続いて欲しいと思っても、すべては変化し永遠なものは何ひとつない。にもかかわらず、私たちは変わらない

ことを無意識に望んでいる。失ったもの、変化したものを悲しみ、いつまでも執着が消えないことがある。いくら悲しんでも元へは戻らないのに。

その執着心は煩惱である。

そのような煩惱をなくすことがさとりである。そうやって執着心からはなれ精神の自由をえることが出来れば心の平和がえられるのだ。

親鸞の煩惱 その煩惱を鋭く見つめたのが親鸞である。

親鸞は九歳で比叡山のぼり二十年にわたって修行を続けた。定められた修行を完成し、ある程度の達成感がえられるは

健全な食生活を実践することが出来る人間を育てること」と示されています。

健康寿命(健康で自立した生活を送れる期間)は、平均寿命より男性9.0歳、女性12.4歳と短いので、超少子高齢社会の現在、すべての国民が自己管理により、生活

病、脳卒中などは、年齢リスクを高める飲酒の減少により、予防可能であるという科学的根拠が出ています。

日野原先生は「生涯現役」、まさに健康長寿を全うされた方でした。

皆さんもこの機会に、QOL(生活の質)の高い健康長寿を目指して、ご自分の生活習慣を見直し、改善してみませんか？

一気に理想的なことをすると、三日坊主で終わってしまいます。無理せず、長続きできる行動目標、例えば、朝ご飯を一口でも食べる、野菜を一品多く食べる、よく噛む、ど

か食いしない、間食・夜食の量(回数)を減らす、10分歩く、階段を使うなど、ちよつとした目標を立てて、記録し、できたかどうかをチェックするのが効果的です。

日	曜日	講時	対象学生	担当	講師他
4	月	1	造形1	井上	普賢 保之
		2	食物3	普賢	志津田一彦
		4	史学3B	東光	藤原 美沙
5	火	1	福祉1	西	市川ひろみ
		4	英文3A	黒田	ビデオ
		1	法学3	普賢	桜沢 隆哉
6	水	3	国文3A	森田	ビデオ
		1	現社3C	森田	ビデオ
		4	現社3A	那須	ビデオ
7	木	2	教育1	三浦	安田 章紀
		4	現社1C	那須	福永 俊哉
		1	現社1A	中西	佐伯 恵子
11	月	2	史学1A	野村	前川 正実
		4	児童1	黒田	前崎 信也
		1	教育3	森田	ビデオ
12	火	3	造形3	森田	ビデオ
		4	英文3B	清基	ビデオ
		1	心音1	森田	橋本 久雄
13	水	2	福祉3	黒田	ビデオ
		1	現社3D	東光	ビデオ
		4	現社3B	藤井	ビデオ
14	木	1	英文1A	秋本	金 清浩
		2	心音3	塚本	ビデオ
		1	現社1B	野村	矢野 真
18	月	3	国文1A	普賢	小山 順子
		4	史学3A	竹本	ビデオ
		1	法学1	藤井	瓜生 淑子
20	水	3	国文3B	普賢	ビデオ
		1	食物1	塚本	藤井 隆道
		2	史学1B	上野	江口 聡
25	月	3	国文1B	黒田	表 真美
		1	英文1B	三浦	横村 久子
		3	児童3	秋本	ビデオ
29	金	4	現社1D	安田	竹内 康弘

※3回生…親鸞聖人ビデオ(6月)

今年も居士林での一泊研修が六月二日から一泊二日の予定で実施される。私も夏に日曜学校の子供たちと一緒に一泊二日の研修に出かけた経験がある。比叡山は東塔、西塔、横川の三つのエリアに分けられるが、居士林は西塔の中にある。西塔には常行堂と法華堂があり、二つのお堂が渡り廊下で結ばれていることから、にない堂とも称されている。にない堂を進んで階段を降りると、正面には釈迦堂がある。山道は少し歩いて行くと伝教大師最澄の廟所である浄土院もある。

た。煩惱をすてきれない人間という存在だからこそ私が救って浄土に往生させ、必ず仏にすると阿彌陀仏は誓う。自らの煩惱に気付いたからこそ親鸞は、そのような自分に向けられた本願を信じることでできたのである。

その親鸞が出会ったのが阿彌陀仏の本願であった。

煩惱のゆくえ 大晦日になると除夜の

鐘がつかれる。煩惱の数の鐘をついて煩惱を減らすという。しかし鐘をついただけで私たちの煩惱は消えるのだろうか。鐘がつかれるたびに、私のなかの煩惱に気がつき、煩惱をすてきれないありのままの自分をつめることこそ、私たちに大切なことではないのだろうか。

食物栄養学科からの便り

③食育と健康長寿

6月は食育月間です。2005年6月に、わが国の「食」をめぐる現状(肥満や生活習慣病(がん、糖尿病など)の増加、栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加、「食」の安全上の問題の発生、過度の痩身志向の増加、「食」を大切にしている心の欠如、伝統ある食文化の喪失など)の課題解決のために食育基本法が制定されました。10余年が経過し、新たな課題として、若い世代の食育の実践に関する改善・充実の必要性、貧困の状況にある子供に対する支援の推進、新たな成長戦略における「健康寿命の延伸」、食品ロスの削減などが挙げられています。

法の前文に、「食育とは、様々な経験を通して『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、

健全な食生活を実践することが出来る人間を育てること」と示されています。健康寿命(健康で自立した生活を送れる期間)は、平均寿命より男性9.0歳、女性12.4歳と短いので、超少子高齢社会の現在、すべての国民が自己管理により、生活

(中山 玲子)

(普)



花と詩人

文学部教授 下村伸子

今年の春は桜の開花が早く、三月末には暦月の二度目の満月という意味でのブルームーンと桜の満開が重なり、優美な夜景を鑑賞された方も多いことと思います。俳人渡辺水巴の一句「てのひらに落花とまらぬ月夜かな」を文字通りに体験された方もあるでしょう。

エミリー・デイキンソンと花

十九世紀アメリカの詩人エミリー・デイキンソン(一八三〇—一八八六)は、生存中自らの詩集を出版することができま

に分類され、北米や日本にも自生するこの花は、葉緑素を持たないため全体が白く、アメリカでは「氷の花、幽霊の花、屍体の花」などとも呼ばれてい

だけで、その一篇は、日本語に訳すと「アキノギンリヨウソウのように白く／＼ベニバナサワギキョウのように赤く／＼正午の月のように信じられない

う一篇の詩からも、デイキンソンがこの花の白さや花の生命の不思議さに惹かれていたことが想像できますが、この花は詩人が予想しなかった経緯で、彼女を象徴する花となりました。彼女の死後、初めての詩集を編集・出版したのは、生前文通を

女性詩人の詩集

数年前、デイキンソン

の詩集は次々と版を重ね、やがて二十世紀の編者たちの手を経て遺稿の全貌が明らかになるにつ

終わりに

ヒギンソンとトッド編

出版したが、詩の創作を続けながら、家の庭造りや植物の栽培などガーデニングにも力を入れていました。四〇〇種類以上の草花を自らの手で押し花にしてラテン語名を添えた植物標本集は、詩人の死後も保存され、二〇〇六年にファクシミリ版で出版されています。彼女の詩の作品中にも多くの植物が登場しますが、そのなかでも「Indian Pipe」(アキノギンリヨウソウ)という花が、特別な意味を持つことが研究者の間で論じられてきました。菌従属栄養植物

「銀竜草」(別名ユウレイタケ)によく似ていることから「銀竜草もどき」とも名付けられています。花が下向きに咲き、頭を垂れている感じがです。花と茎の半透明の白さからも幽霊と言われると頷いてしまいます。

デイキンソンは、この花も押し花にして作成中の標本集に入れたので、「エミリー・デイキンソンの植物標本集」(Emily Dickinson's Herbarium)に収められています。この花が詩の中に書かれたのは二度

育ったニューイングランドの雪に覆われた白銀の世界とその世界を深紅に染める朝焼けや夕焼けを

想像すればいいのでしょうか。まさに「信じられない」(Fabulous)冬の時間です。

多くの遺稿が発見され、詩集を出版することに

ドはできるだけデイキンソン

の評価は女性の詩人という狭い範疇から脱却して

宗教・文化研究所公開講座(ご案内)

シリーズ：東山から発信する京都の歴史と文化②
テーマ：「天皇讓位」の時代—院政期の政治と文化—
開催日 6月16日(第三土曜日)
第一部 13:00~14:30
「朝観行幸にみる天皇と儀礼」
講師 佛教大学歴史学部准教授 佐古 愛己 氏
第二部 15:00~16:30
「仲恭天皇廢位の衝撃—承久の乱と皇位継承—」
講師 帝京大学文学部講師 佐伯 智広 氏
場 所 B501

シリーズ 智慧の蔵 ⑱

『言葉はなぜ生まれたのか』

岡ノ谷一夫 著 文藝春秋 二〇一〇年

二〇一〇年

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

法のことば

本師曇鸞和尚は 菩提流支のをしへにて 仙経ながくやさすてて 浄土にふかく帰せしめき

七高僧の三人目は、中国の曇鸞大師(四七六—五四二)です。南北朝時代、北魏という国で、『大集経』という大部の經典の註釈を志されたのですが、病いを患われます。

そこで、不老長生の法を求めて江南の道士陶弘景を訪ね、仙経十巻を授かったのです。しかし、帰路洛陽に立ち寄って、翻訳僧の菩提流支三蔵に会われ、「仏教にも不老長生の法があるか」と尋ねたところ、「たとい長年を得て少時死せざるも、遂には三有の迷いを輪廻せんのみ」と一喝され、苦勞して手に入れた仙経をその場で焼き捨て、浄土の教えに帰依されたのです。

長く生きればよいのではなく、仏の覚りの世界に導かれることこそが生きる意味であると思ひ知らされ、その後は天親菩薩の『浄土論』の註釈に没頭され、『浄土論註』を著されます。「親鸞」という名は、この天親・曇鸞両師に依ると考えられています。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

「言葉」はなぜ生まれたのか。ズバリ、本書はこの素朴にして壮大な疑問の核心に迫ります。

(森田 眞円)

(東光 直也)

